

1 東中に在籍する外国にルーツがある生徒の状況

(1) 東中における外国籍生徒数の推移 (各年度5月1日現在)

【表1】

	R3	R4	R5
外国にルーツがある生徒	37	29	33
外国籍生徒	25	20	22
取り出し生徒	18	13	16

(人)

(2) こくさい教室の運営について

① こくさい教室の重点目標

- 日本語に精通しない生徒の学力保障・進路保障を行う
  - ・教科指導の強化・・・学習意欲の向上と学力向上を目指す
  - ・高校進学率の向上・・・進路指導の充実、職業選択の幅を広げる
- 外国にルーツがある生徒の自尊感情の育成を行う
  - ・欠席日数を減らす・・・安心して過ごせる居場所づくり

② 指導体制

- 担当教員2名、各教科担当教員8名、日本語指導支援員7名
- スローガン：ちがいを豊かに・・・多様性を認め合う集団づくり (普通学級在籍)  
一人一人の人権を大切にする教育活動
- 取り出し指導 (国語・数学は原則取り出して指導を行う)

【表2】

	来日間もない生徒	学年相当の学力がない生徒	高校進学を希望する生徒
こくさい担当教員	日本の文化や習慣について指導		
	日本語初期指導 日本語会話・小3までの漢字の読み書き	放課後の学習指導 夏休みの補充学習	放課後の学習指導 夏休みの補充学習
教科担当教員	各教科の学習指導	各教科の学習指導	各教科の学習指導

③ 保護者への啓発

- 学校からの便りは母国語に翻訳したものを添付
- 保護者会の開催・・・学校行事、進路指導など

④ 東中の教職員との情報共有

- こくさいだよりの発行



【日本語指導支援員による指導】

### (3) 東中における日本語指導の成果と課題

#### 成果

##### 1 高校進学率の向上

【表3】

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
卒業数(人)	12	12	16	14	15	10
進学者(人)	6	9	15	11	13	10
進学率(%)	50	75	94	79	86	100

##### 2 ポケトークなどの翻訳機器の拡充とお便りの翻訳化が進む

##### 3 こくさい教室が生徒にとって安心できる居場所に

#### 課題

##### 1 生徒の学力向上のための教材・教具の整備と指導体制の拡充

外国語版アプリによる小・中学校のデジタル教科書や操作するタブレット、Wifiの設置など学習環境の整備が必要である。生徒の進路希望を十分満たすためには、取り出し指導の時間を増加や、学習内容の充実など指導体制の拡充の余地がまだまだある。

##### 2 校内の多文化理解への取組

交流学級の生徒や教員の多文化理解を深め、人権を大切にする教育を実践すること。

##### 3 書類の翻訳業務

学校から発出される書類には本人だけでなく、保護者にも伝える内容がある。保護者が理解できるように、書類を母語に翻訳して配布する必要がある。まだ整備が必要である。